



ラグビーを始めるということ

ラグビーには目的やプレイヤーの安全を考慮し、また、対象とする年代に合わせて、異なったゲームやルールが用意されています。学校教育でも導入され、幅広い年代を対象にしているタグラグビーや、幼児・児童向けのミニラグビー、中学校年代向けのジュニアラグビーがそれにあたります。ラグビーは常に、安全に楽しくゲームに参加でき、練習を通じて技術や戦術を成長させつつ、生涯に渡ってスポーツに参加するきっかけとなります。

保護者の皆様へ

ノーサイドの精神について

日本ラグビー界で脈々と「ノーサイド」という言葉と精神が守り続けられてきたことが、ラグビー先進国の関係者から高く評価されています。この「ノーサイド」のすばらしさを子どもたちにぜひ体感させてください。

自分のお子さんや、自分のチームのプレイヤーへの声援はもちろんですが、相手チームのよいプレーについて賞賛してあげてください。

試合に勝つことだけがミニラグビーをプレーする目的ではありません。「全てのプレイヤーに全てのスキルを」を念頭に、ラグビーの魅力を体感できるようにしてください。また、「自らを抑制する謙虚な心と思いやり」をもったプレイヤーを育ててください。

プレイヤーやレフリーへの暴言は厳に慎んでください。また、相手の失敗を嘲笑したり、自分のチームのプレイヤーの失敗を罵ったりすることはあってはなりません。もし、そのような方がいらしたら、周りの皆さんが注意をしてあげてください。

保護者の皆さんもぜひ、ラグビーのプレーの魅力と文化に触れてみてください。

CORE VALUE

ラグビーのコアバリュー

2009年、ワールドラグビーに加盟する国や地域の協会が協力し、ラグビーの魅力と特徴を表す5つのコアバリューを制定しました。



品位(INTEGRITY)

品位とはゲームの核をなすものであり、誠実さとフェアプレーによって生み出される。

情熱(PASSION)

ラグビーに関わる人々は、ゲームに対する情熱的な熱意を持っている。ラグビーは、興奮を呼び、愛着心を沸かせ、世界中のラグビーファミリーとの一体感を生む。

結束(SOLIDARITY)

ラグビーは、生涯続く友情、絆、チームワーク、そして、文化的、地理的、政治的、宗教的な相違を超えた忠誠心につながる、一つにまとまった精神をもたらす。

規律(DISCIPLINE)

規律は、ゲームに不可欠なものであり、フィールドの内と外の両方において、競技規則、競技に関する規定、そして、ラグビーのコアバリューの順守を通じて示される。

尊重(RESPPECT)

チームメイト、相手、マッチオフィシャル、そして、ゲームに参加する人を尊重することは、最も重要である。



JAPAN RUGBY
FOOTBALL UNION

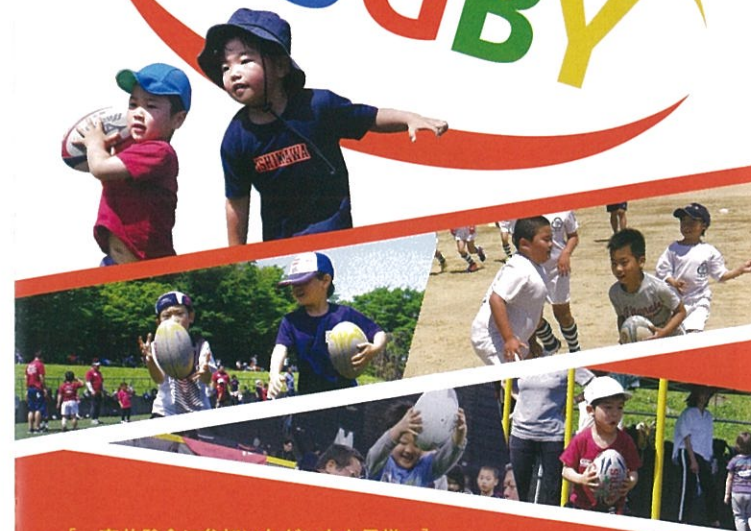
公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会

〒107-0061 東京都港区北青山2-8-35



保護者向けガイド

はじめての ラグビー!



〔一斉体験会に参加いただいたお子様へ〕

アンケートにお答えいただくと抽選で

**5名様にランドローバーロゴ入り
ラグビーボールをプレゼントいたします**

■応募締切/2019年6月30日(日)

スマートフォンで右記QRコードからアンケートにご参加ください。

抽選の結果は賞品の発送を持って変えさせていただきます。

お答えいただいた個人情報は賞品の発送のみに用い、その他の用途には用いません。





Impact Beyond 2019

Impact Beyond 2019とはラグビーワールドカップ2019を通じて、ラグビーの価値を日本やアジアに向けて更に広めていくことを目標としたプログラムです。各国の協会を統括するワールドラグビーや、アジア各国の協会が加盟するアジアラグビー、そして、日本ラグビーフットボール協会が協力して作成しました。Impact Beyondプログラムは2019年だけでなく、2015年のラグビーワールドカップやリオオリンピックといった過去の大会でも作成、実行されています。



LAND ROVER

ランドローバーは、ラグビーワールドカップ2019のワールドワイドパートナーです。

草の根レベルをはじめ、世界のあらゆるラグビーを20年以上にわたってサポートしているランドローバー。ラグビーの最高峰であるワールドカップにおいては、3大会連続でワールドワイドパートナーを務めています。日本国内では、ランドローバーの哲学“ABOVE&BEYOND(さらなる高みへの挑戦)”を体現するラグーマン、リーチ・マイケル選手、田村優選手とブランドアンバサダー契約を締結。彼らとスクラムを組み、アジア初開催となるラグビーワールドカップ2019日本大会を盛り上げていきます。

日本ラグビーフットボール協会は、15歳以下の公式戦において、年齢別に競技規則を設けています。子どもたちの年齢や発達を考慮し、安全に、ラグビーの魅力を感じてもらえることを目的としています。

年齢やグレードに別れて
お子さまから始められる!

	年 齢	ボール	コート	1チーム人数 <small>[試合時間]</small>	得 点
TAG RUGBY U8 タグラグビー	3-8歳	3号球 以下 <small>[直径] 26-28cm [重さ] 360-380g</small>	14×20m	5人制 5-7分	トライ……………1点
MINI U10 ミニラグビー	9-10歳	3号球 —または— 4号球	35×60m	7人制 【最大】 15+15分 <small>(1日の上限50分)</small>	トライ……………5点 ペナルティトライ…5点
MINI U12 ミニラグビー	11-12歳	4号球 <small>[直径] 27-29cm [重さ] 380-400g</small>	40×60m	9人制 【最大】 20+20分 <small>(1日の上限60分)</small>	トライ……………5点 ペナルティトライ…5点 コンバージョン…2点
JUNIOR U15 ジュニアラグビー	13-15歳			12人制 【最大】 20+20分 <small>(1日の上限最大70分)</small>	トライ……………5点 コンバージョン…2点 ペナルティトライ…7点 ペナルティゴール…3点 ドロップゴール…3点
高校・大学 一般クラブ・トップリーグ 15 Players 15人制 ラグビー	15歳 以上 <small>※19歳未満には 補足規定有</small>	5号球 <small>[直径] 28-30cm [重さ] 410-460g</small>	70×100m	15人制 【最大】 40+40分	
オリンピック種目 7 Players 7人制 ラグビー	13歳 以上			7人制 【最大】 10+10分	

